

阿南市桑野小学校：平成25年度「学力・学習状況」改善プラン

1 現状・課題

学 力	<ul style="list-style-type: none"> ○文章の要点を簡潔にまとめたり，聴き取った事柄をメモしたりする力が十分ではない。 ○基礎的な学力はほぼ身につけているが，発展的な問題や文章題を苦手とする児童が多い。 ○全体的に，資料を活用する力が必要な問題には時間を要する。 ○大勢の前で，大きな声で自分の思いや考えを発表することを苦手としている児童がいる。
学 習 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ○学習中の姿勢が崩れやすく，しっかりと相手の方を見て話を聴くことができない児童がいる。 ○課題に対してまじめに意欲的に取り組もうとするが，集中力が持続しない児童もいる。 ○自分で目標をたて，自ら進んで学習したり生活したりしようとしていけない児童がいる。

2 目標等

(1) 学力について

重点目標：基礎基本の定着をはかり，自ら課題を解決する力を育てる。				
具体的目標	数値目標	具体的方策	評価	改善点
自分の考えを相手にはっきりと伝えることができる。	「自分の意見が進んで話せるようになった」児童の割合を90%以上にする。	1分間スピーチや授業中の発表で，「声のものさし」，「発表のしかた」を活用し，児童が具体的なめあてをもって取り組むことができるようにする。	指名されれば答えられるが自分から進んで発表することがまだ十分でない。 4・③・2・1	<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定を学年に応じて，より具体的に設定する。 ・週目標などを通して意識づけていく。
文章題を正しく読み取り立式をし，その説明ができる。	自分の力で立式ができる児童の割合を80%以上にする。	「わかっていること」に <u> </u> ，「たずねられていること」に <u> </u> を引いたり，数字を絵や図で表す等の学習作業のパターン化を進め，児童の説明能力を高める。	立式はできるが説明能力は十分ではない。 4・③・2・1	<ul style="list-style-type: none"> ・説明するための用語の指導を徹底する。 ・思考力がともなわないので類似問題を数多くする必要がある。
情報を分類，整理し，自分の考えを表現する能力を育てる。	新聞や本，インターネットで情報を収集することができる児童を90%以上にする。	情報収集の方法を提示し，情報をまとめ，整理し，記録にまとめる学習の場を多く設定し，自分の考えを表現できるようにする。	情報を丸写しし，要点をまとめることができない。 4・③・2・1	<ul style="list-style-type: none"> ・調べるためのめあてや，伝える対象等を明確に提示し，情報をまとめやすいようにする。

(2) 学習状況について

重点目標：家庭との連携を通じて，基本的な生活習慣や望ましい学習習慣の確立をはかる。				
具体的目標	数値目標	具体的方策	評価	改善点
家庭学習の時間を確保し，学習習慣を身につけさせるとともに，自分に合った学習方法を工夫させる。	100%の児童が宿題を提出し，忘れ物をしないようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・学年×10分以上の学習時間を継続する。 ・HPや学校便り，学級便りや保健便りを利用して学校の取り組みを発信し，理解と協力を得る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの児童は正答誤答に関わらず宿題ができています。 ・忘れ物については，なかなか徹底できず，粘り強く指導する必要がある。 4・③・2・1	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続させるためには，学力が十分定着していない児童へよりきめ細かく「宿題の仕方」を提示する。 ・家庭で学習しやすい環境作りができるよう保護者への協力をよびかける。

※評価欄の上段には，各具体的目標における数値目標の達成状況について記入した。下段には，達成状況を「4 十分できた 3 概ねできた 2 あまりできなかった 1 できなかった」で判断し，該当番号に○を付けた。